

## 第 97 回資金管理業務諮問委員会 議事録

1. 日時:2022 年 6 月 8 日(水)15 時 30 分～17 時 00 分
2. 場所:公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第 1・第 2 会議室
3. 出席者:菅原委員長、井岡委員、大石委員、高岡委員、村上委員、山下委員、山田委員  
以上 7 名  
その他 経済産業省・環境省担当官、公益財団法人自動車リサイクル促進センター役職員が出席
4. 議題:①2021 年度概況【報告事項】  
②2021 年度事業報告【報告事項】  
③2021 年度決算報告【報告事項】  
④2021 年度運用実績【報告事項】  
⑤2021 年度特預金の出えん等実績【報告事項】  
⑥会計監査法人の選定結果【報告事項】  
⑦「合意された手続」を実施する「独立した第三者」の選定結果【報告事項】  
⑧「合意された手続」の実施結果【報告事項】  
⑨システム大改造の進捗状況【報告事項】  
⑩ユーザー理解活動の取組状況【報告事項】

### 5. 議事録

#### (1)議題①について

2021 年の概況について、事務局から資料「第 97 回 資金管理業務諮問委員会」の 3～6 ページにて報告した。

#### <主な意見>

なし

#### (2)議題②について

2021年度の事業報告について、事務局から同資料の7～13ページにて報告した。

#### <主な意見>

なし

(3) 議題③について

2021 年度決算報告について、事務局から同資料の 14～23 ページにて報告した。

<主な意見>

【委員A】

再資源化預託金等の管理に関する会計での預託収入の3物品の内訳について、フロン類だけが前年と比べて減っているのはなぜか。

【事務局】

エアコンの冷媒がフロン類から別のものに移行している等の影響で、フロン類の預託が減っている。今後も減少する。

(4) 議題④について

2021 年度運用実績について、事務局から同資料の 24～29 ページにて報告した。

<主な意見>

【委員B】

ESG債は地方自治体でも今後発行が拡大されるようで、投資の選択肢が増えるのは良いことだと思う。

【委員C】

現在、インフレや金利差などにより為替変動が大きいですが、世界的な金利上昇は当面続くと見られる。現状では日銀の政策には変更の兆しがないので、10年国債の利回りは0.25%程度を上限にした推移が続くと思われる。

(5) 議題⑤について

2021 年度特預金の出えん等実績について、事務局から同資料の 30～34 ページにて報告した。

<主な意見>

【委員B】

不法投棄等対策支援事業について、昨年度のモデル事業の対象となるような案件は本年度はあるか。

【再資源化支援部】

本年度はそのような案件は存在しない。

(6) 議題⑥～⑧について

会計監査人の選定結果、「合意された手続」を実施する「独立した第三者」の選定結果、「合意された手続」の実施結果について、事務局から同資料の 35～37 ページにて報告

した。

<主な意見>

なし

(7)議題⑨について

システム大改造の進捗状況について、事務局から別冊1(非公開資料)にて報告した。

<主な意見>

【委員B】

多面的な効率化、スリム化が進んでいると感じる。リコール情報を解体事業者へ提供すること等により、安全な解体への貢献ができ、大変有益だと思う。災害の際にもスピード感ある対応が可能になるのではないかな。

【委員D】

自工会からの車体関連の情報をJARSを通じて解体事業者提供していくとのことだが、その情報の所有権はどこにあるのか。解体事業者がリサイクルシステムを通して得た情報を独自に利用することなどは可能であるのか。

大改造の方向性については賛成する。

【システム部】

今回リサイクルシステムから提供する情報は主に安全等に寄与する基礎情報であることから、より多くの方にご覧になって使用して頂けるように進めているところである。部品情報等のより詳細な情報については、開示範囲や粒度についてメーカーと個別調整を進める。2026年のリリース時には実現しなくても、将来的には詳細な情報(例えば個々のバッテリーの個体識別番号等)を提供できるような仕組みは事前に作っておくことを考えている。

【経済産業省】

ご指摘の通りバッテリーの中身がどうなっているか等の詳細な情報というのは、現段階で自り法上求めるものではないためあくまで任意で協力が得られる範囲でとなる。輸入車に関しても同様であくまで任意。

【委員A】

LiBは資源の塊であるので、適正処理のトレーサビリティはメーカーの責任必須という形でシステムに組み込むことが望ましいと考える。

【委員E】

新しいシステムを事業者が実際にきちんと活用できるように、しっかりと準備をお願いしたい。また、クラウドを使用することについては、セキュリティ攻撃に対する準備を十分をお願いしたい。

【システム部】

新しいシステムに関しては内容や操作の説明が今後必要になると考えるので、引き続き事業者の団体と連携して進めていく。

セキュリティ面に関しては、データセンターを日本国内の拠点に限定したり、災害対策のために東日本と西日本で2拠点置いたりというような条件を検討しながら入札を進めていきたい。

(8) 議題⑩について

ユーザー理解活動の取組状況について、事務局から同資料の 35～37 ページにて報告した。

<主な意見>

なし

以上